

令和6年（2024年）夏（6月～8月）の天候経過

令和6年9月2日
新潟地方气象台

1. 北陸地方の今夏（6月～8月）の特徴

【今夏もかなりの高温 梅雨の時期（6・7月）は多雨】

地球温暖化等による大気の全球的なかなりの高温や、梅雨入りがかなり遅くなったことなどでこの季節としては天気が良い日が多かったことから、今夏の日照時間は多く平均気温はかなり高かった。梅雨の時期の降水量は、梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすく平年より多かった。台風の北上に伴ってなど、暖かく湿った空気の影響を受け短時間による記録的な大雨となった所があった。

2. 3か月平均（合計）と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

北陸地方平均	6～8月	6月	7月	8月
平均気温平年差	+ 1.6℃	+ 1.5℃	+ 1.8℃	+ 1.5℃
階級	かなり高い	かなり高い	かなり高い	高い
降水量平年比	94 %	87 %	137 %	41 %
階級	平年並	平年並	多い	少ない
日照時間平年比	109 %	135 %	92 %	103 %
階級	多い	かなり多い	平年並	平年並

（注）北陸地方平均：北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したもの

3. 月別の天候経過

（6月）【梅雨前線の北上が遅く、かなりの高温・かなりの多照】

中旬までは梅雨前線が日本の南に位置することが多く、この時期としては高気圧に覆われることが多くなった。梅雨入りはかなり遅く、6月中旬の日照時間と平均気温は統計開始以降（*）1位の多照および高温となった。月の平均気温はかなり高く、日照時間はかなり多かった。

（*）日照時間は1961年、平均気温は1946年の統計開始

（7月）【梅雨明けは遅く かなりの高温 多雨】

月を通して梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすく、下旬では台風第3号が発生し日本の西を北上した影響から、前線が活発化した。また、地球温暖化等の長期的な監視（*）では、日本の月平均気温が統計を開始した1898年以降の7月として、最も高かったこともあり、北陸地方も月の平均気温はかなり高く、降水量は多かった。

（*）都市化による影響が比較的小さく、長期間の観測が行われている地点から、地域的に偏りなく分布するように選定した15地点（網走、根室、寿都、山形、石巻、伏木、飯田、銚子、境、浜田、彦根、宮崎、多度津、名瀬、石垣島）の气象台等の観測値を用いた統計。

（8月）【たびたび台風の影響を受けたが、まとまった降水とならず 高温 少雨】

上・中旬では台風が日本の東側を北上することが多く、平年程度の日照時間となった。下旬では台風が日本の西側を北上し高気圧が東から張り出し、暖かい空気の影響を受けやすく下旬の平均気温はかなり高くなり月の平均気温は高かった。台風の北上に伴っては暖かく湿った空気の影響を受けるなどして、大雨となった日もあったが、月の降水量は少なかった。

4. 参考資料

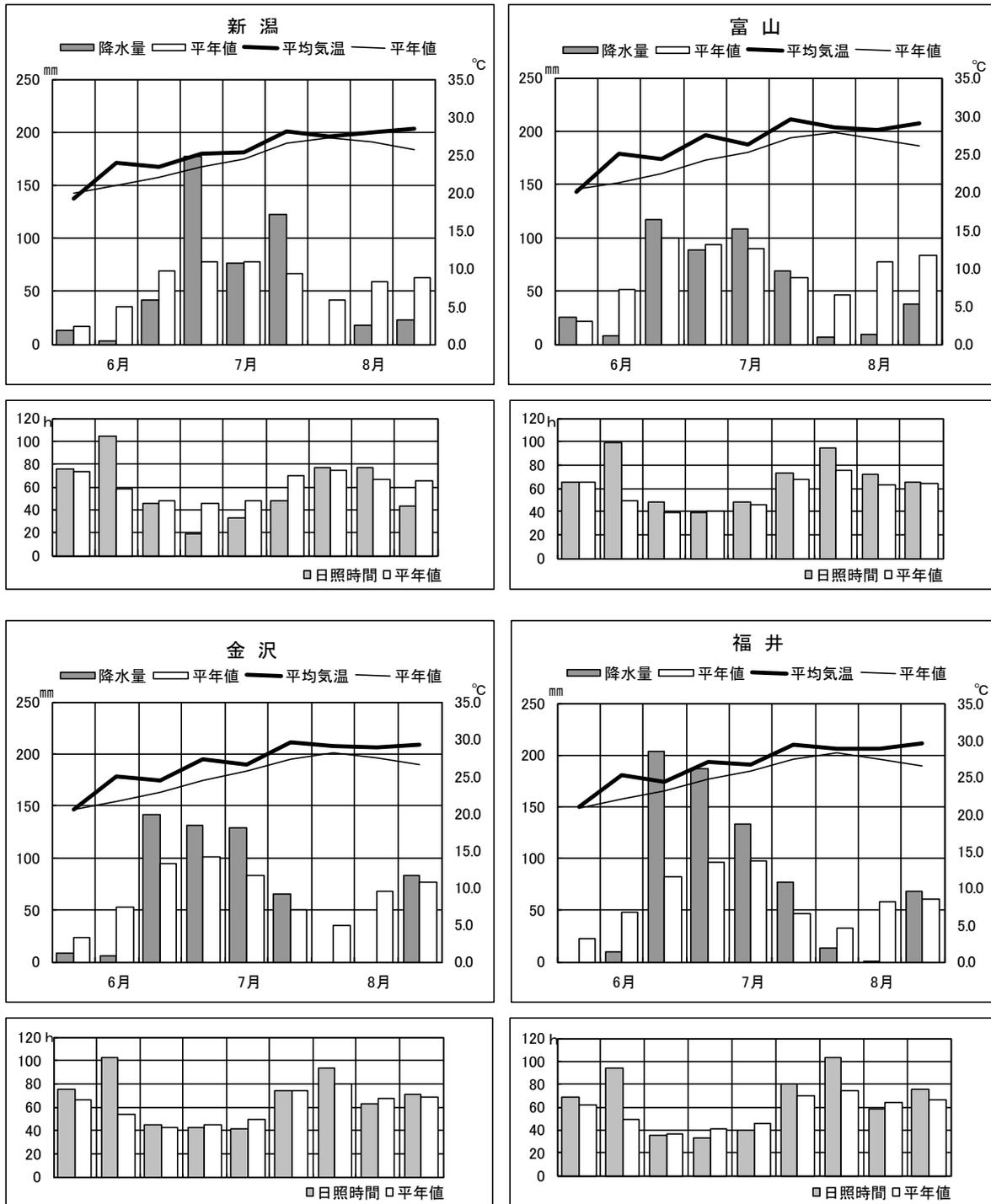


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における6～8月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	6月		7月		8月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)
新潟	22.2	+1.3 (++)	26.2	+1.3 (+)	28.0	+1.5 (+)	25.5	+1.4 (++)
高田	22.2	+1.3 (++)	26.7	+1.7 (++)	27.9	+1.5 (+)	25.6	+1.5 (++)
相川	21.4	+1.6 (++)	25.3	+1.3 (++)	27.4	+1.4 (+)	24.7	+1.5 (++)
富山	23.2	+1.8 (++)	27.8	+2.3 (++)	28.6	+1.7 (+)	26.5	+1.9 (++)
伏木	22.4	+1.6 (++)	27.1	+2.0 (++)	28.3	+1.6 (++)	25.9	+1.7 (++)
金沢	23.3	+1.7 (++)	27.9	+2.1 (++)	29.0	+1.7 (++)	26.7	+1.8 (++)
輪島	21.7	+1.7 (++)	26.3	+1.9 (++)	27.4	+1.5 (++)	25.1	+1.6 (++)
福井	23.6	+1.6 (++)	27.8	+1.7 (++)	29.1	+1.7 (++)	26.8	+1.6 (++)
敦賀	23.1	+1.0 (+)	28.1	+1.8 (++)	29.0	+1.3 (+)	26.7	+1.3 (++)
北陸平均		+1.5 (++)		+1.8 (++)		+1.5 (+)		+1.6 (++)

降水量	6月		7月		8月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)
新潟	57.0	47 (-)	376.5	169 (+)	42.0	26 (-*)	475.5	94 (O)
高田	77.0	56 (-)	228.5	110 (+)	44.5	24 (-*)	350.0	66 (-)
相川	70.5	58 (-)	228.5	110 (O)	29.0	21 (-*)	328.0	71 (-)
富山	150.0	87 (O)	265.0	108 (O)	53.0	26 (-)	468.0	75 (-)
伏木	159.5	100 (O)	272.5	122 (+)	104.5	54 (-)	536.5	93 (O)
金沢	156.5	92 (O)	326.0	140 (+)	83.5	47 (-)	566.0	97 (O)
輪島	108.5	70 (-)	344.0	172 (+)	122.5	69 (-)	575.0	108 (O)
福井	213.0	139 (+)	397.5	166 (+)	83.5	55 (-)	694.0	128 (+)
敦賀	191.5	133 (+)	276.0	135 (+)	74.5	51 (-)	542.0	110 (O)
北陸平均		87 (O)		137 (+)		41 (-)		94 (O)

日照時間	6月		7月		8月		3か月合計	
	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)
新潟	226.4	126 (++)	99.4	61 (-*)	197.1	96 (O)	522.9	96 (-)
高田	217.3	141 (++)	157.1	106 (O)	191.4	101 (O)	565.8	115 (+)
相川	233.6	131 (++)	96.4	60 (-*)	212.0	102 (O)	542.0	99 (O)
富山	212.9	138 (++)	160.5	105 (O)	230.3	114 (+)	603.7	119 (+)
伏木	218.4	138 (++)	163.5	102 (O)	213.3	104 (O)	595.2	113 (+)
金沢	223.6	138 (++)	158.0	94 (O)	226.1	105 (O)	607.7	111 (+)
輪島	230.2	143 (++)	150.0	95 (O)	173.9	86 (-)	554.1	106 (O)
福井	198.7	135 (++)	153.6	99 (O)	237.8	116 (+)	590.1	116 (+)
敦賀	179.4	128 (++)	160.3	105 (O)	206.6	102 (O)	546.3	110 (+)
北陸平均		135 (++)		92 (O)		103 (O)		109 (+)

注1) 平年値は1991～2020年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い (少ない), (O) : 平年並, (+) : 高い (多い)

(-*) : かなり低い (かなり少ない), (++) : かなり高い (かなり多い)

注3) 値の横に) や] がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数 (統計に用いた品質が十分な日数) を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

表2 北陸地方における6～8月の階級別日数

	6月			7月			8月		
	最高気温		最低気温	最高気温		最低気温	最高気温		最低気温
官署	30℃以上	35℃以上	25℃以上	30℃以上	35℃以上	25℃以上	30℃以上	35℃以上	25℃以上
新潟	5(1.3)	0(0.0)	0(0.0)	15(10.8)	1(0.9)	7(2.8)	27(18.5)	2(2.3)	13(7.3)
高田	3(2.5)	0(0.1)	0(0.0)	20(14.6)	3(1.3)	3(1.1)	30(20.9)	3(3.2)	6(3.2)
相川	2(0.2)	0(0.0)	0(0.0)	7(6.0)	0(0.3)	9(2.0)	22(12.4)	0(0.7)	10(6.1)
富山	13(3.1)	0(0.1)	0(0.0)	22(15.5)	11(2.6)	10(2.2)	28(20.6)	6(4.7)	18(6.6)
伏木	6(2.1)	0(0.1)	0(0.0)	19(13.3)	6(2.0)	12(2.7)	27(19.1)	4(2.9)	23(8.1)
金沢	6(2.4)	0(0.0)	0(0.1)	22(15.0)	5(1.0)	16(6.3)	29(21.5)	5(2.1)	26(12.2)
輪島	4(0.8)	0(0.0)	0(0.0)	16(10.2)	0(0.5)	7(1.0)	25(16.8)	3(1.2)	11(2.6)
福井	10(4.6)	0(0.0)	0(0.1)	24(17.2)	10(2.8)	12(4.5)	29(24.0)	9(5.5)	23(8.6)
敦賀	4(3.4)	0(0.0)	0(0.2)	22(15.7)	7(1.9)	16(8.0)	28(23.5)	6(3.7)	23(14.3)

注1) 真夏日：日最高気温が30℃以上の日 猛暑日：日最高気温が35℃以上の日

注2) いわゆる「熱帯夜」とは夜間の最低気温が25℃以上の日を指すので、ここに示した日数と異なることもある。
一般的な意味での熱帯夜日数の統計はない。

注3) カッコ()内は平年値

表3 北陸地方における6～8月の日最高気温

官署	最高気温 ℃	起日	累年極値 更新	これまでの1位 ℃	統計開始年月
新潟	36.7	8月23日	更新なし	39.9(2018/8/23)	1881/7
高田	37.2	8月30日	更新なし	40.3(2019/8/14)	1922/1
相川	34.4	8月23日	更新なし	38.5(2023/8/9)	1911/4
富山	39.2	8月23日	更新なし	39.5(2018/8/22)	1939/1
伏木	37.7	8月23日	更新なし	39.7(1994/8/14)	1887/5
金沢	36.5	8月23日	更新なし	38.5(2022/9/6)	1882/1
輪島	35.8	8月23日	更新なし	38.6(2020/9/3)	1929/5
福井	38.1	8月23日	更新なし	38.6(1942/7/19)	1897/1
敦賀	37.5	8月22日	更新なし	37.6(1918/8/13)	1897/10

表4 北陸地方における夏(6～8月)の累年極値・順位(3位以内)更新
夏の平均気温高い方からの順位更新

月	順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃(西暦年)	開始年	平年値 ℃
6-8	2	輪島	25.1	+1.6	25.7(2023)	1929	23.5
		相川	24.7	+1.5	25.6(2023)	1911	23.2
		金沢	26.7	+1.8	27.1(2023)	1882	24.9
		伏木	25.9	+1.7	26.4(2023)	1884	24.2
		富山	26.5	+1.9	27.0(2023)	1939	24.6
		高田	25.6	+1.5	26.2(2023)	1922	24.1
		福井	26.8	+1.6	27.0(2023)	1897	25.2
		敦賀	26.7	+1.3	26.9(2023)	1898	25.4
	3	新潟	25.5	+1.4	26.4(2023)	1881	24.1

月平均気温高い方からの順位更新

月	順位	地点名	平均気温 °C	平年差 °C	これまでの最高 °C (西暦年)	開始年	平年値 °C
6	2	輪島	21.7 =	+1.7	21.9 (2023)	1929	20.0
		相川	21.4	+1.6	21.9 (1916)	1911	19.8
		金沢	23.3 =	+1.7	23.4 (2022)	1882	21.6
		富山	23.2	+1.8	23.3 (2022)	1939	21.4
7	2	輪島	26.3	+1.9	26.7 (2018)	1929	24.4
		富山	27.8	+2.3	28.1 (2018)	1939	25.5
	3	金沢	27.9	+2.1	28.3 (2018)	1882	25.8
		高田	26.7 =	+1.7	27.5 (2018)	1922	25.0
		福井	27.8 =	+1.7	28.7 (2018)	1897	26.1
	敦賀	28.1	+1.8	28.8 (2018)	1898	26.3	
8	3	金沢	29.0	+1.7	30.5 (2023)	1882	27.3
		福井	29.1 =	+1.7	30.4 (2023)	1897	27.4

5. 天候情報発表状況

8月2日 長期間の高温に関する北陸地方気象情報 第1号

6. 北陸地方の梅雨入り・明けの時期（確定値）および梅雨の時期（6月～7月）の降水量

北陸地方の梅雨の時期（6月～7月）の降水量平年比は117%であった。なお、1946年以降で6月～7月の降水量が最も少ない年は1994年（平年比36%）で、最も多い年は1964年（平年比176%）である。

表5 梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り		梅雨明け		梅雨の時期の降水量平年比 (注2)
	今年(注1)	(平年)	今年(注1)	(平年)	
北陸	6月22日ごろ (+)*	(6月11日ごろ)	7月31日ごろ (+)	(7月23日ごろ)	117% (+)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)の観測値を用い、梅雨の時期(6～7月)の平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)*: かなり少ない、の階級区分を表す。

階級区分は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%		33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

表6 各地の梅雨の時期（6月～7月）の降水量

地点	新潟	相川	高田	富山	伏木	金沢	輪島	福井	敦賀
降水量 mm	433.5	299.0	305.5	415.0	432.0	482.5	452.5	610.5	467.5
平年比%	126	91	89	99	113	120	127	156	134

この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。
 なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。